

令和5年度 小山市立間々田中学校 学校経営の基盤

・教育基本法 ・学校教育法 ・学習指導要領 ・Society5.0 ・SDG s の理念

【下都賀地区学校教育】

「生きる力」
知～「学ぶ力」
徳～「豊かな心」
体～「健やかな体」
を育む学校づくりの推進

【小山市学校教育目標】

○人間性豊かで、よりよい生き方を求める。
○自ら学び、確かな学力を身につける。
○心身ともにたくましく、安全につとめる。
○郷土を愛し、社会につくす。
『ほめて 育てる おやまのよい子』

【目指す学校】

・瞳が輝く学校 ～確かな学力の育成
・笑顔があふれる学校～心の教育の充実
・元気なあいさつが響く学校
～健やかな心身の育成

【学校教育目標】小中一貫教育（間々田小・間々田東小） ～合い言葉『一生懸命』～

・「優しく」思いやり助け合う・「賢く」主体的に学ぶ・「逞しく」根気強く健やかな(児童)生徒

信条（人として）～「^{じあいごあい}自愛互愛」自分を大切にすると共に、お互いを大切にする事
モットー（学校経営）～一人一人を大切にすることで、集団としての力を発揮する

人づくり・集団づくり

生徒一人一人を大事にする（ 506 名） → バランス ← 集団（全体）の規律
教職員一人一人を大事にする（ 50 名）

生徒理解 未熟であるのは当たり前 学校教育の意義
教職員の謙虚さ 「変えていく必要があるならば、それは相手ではなく自分である」
自分の工夫 粘り強く 地道な努力 諦めない
思いやり 挨拶（来校者への対応 電話対応）明るさ 積極的 丁寧であること
整理整頓（机上 清掃用具 更衣室 部室 教材室 等々）
トイレ（清潔感 トイレットペーパーの処理）
「目の前のゴミ一つ拾うことが出来ない人間に、何が出来よう」

生徒指導 組織論（一枚岩）→ 生徒理解（特別支援教育の理解）を心がけている学校
こそ、生徒の能力や個性を伸ばすことができる。

「真剣さ」がなければ、「感動」は得られないし、与えることは出来ない。

教職員が
指導（教える）し、
評価する（認め、励ます）こと
→ 改善 意識化・習慣化 → 体が反応する

明るくて、爽やかな生徒・生徒集団
生徒の姿で、地域の期待に応えていく

教職員が生徒に・保護者に、
教職員同士（同僚）が、
明るく積極的な挨拶、声かけ。（報告・連絡・相談→確認・報告）
未熟な子ども達であるからこそ、明るく前向きな生徒理解。
未熟な子ども達であるからこそ、教え、評価しないと育たない